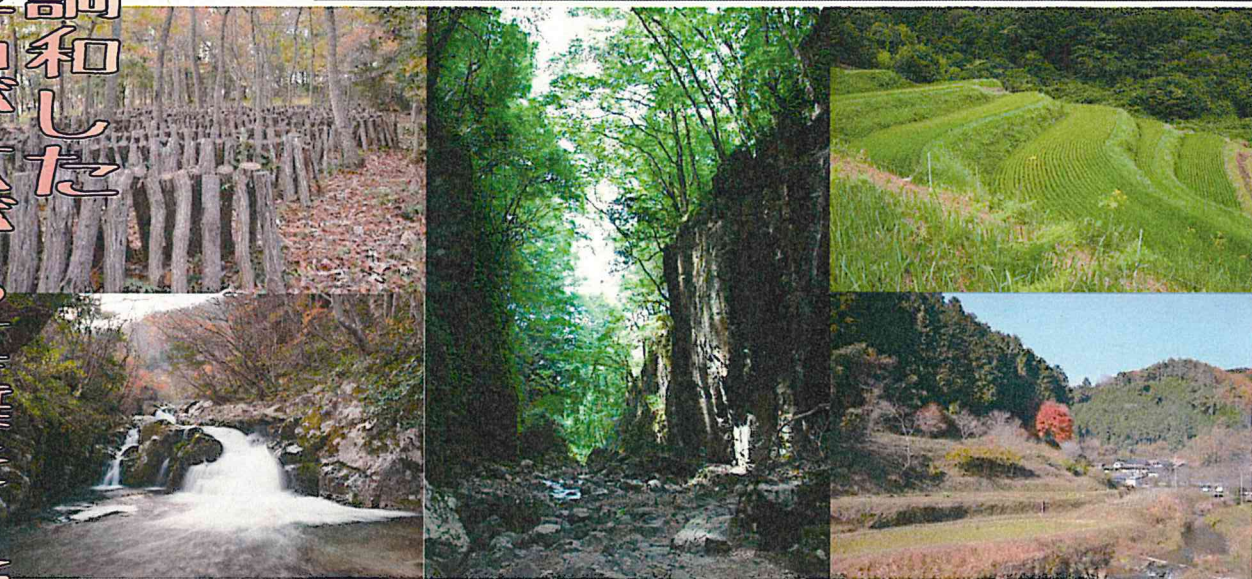
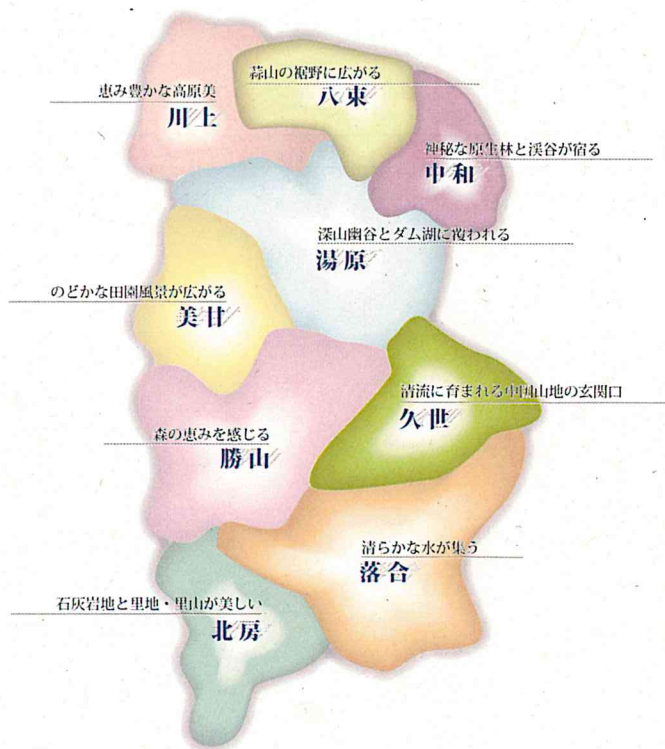


自然と調和した
美しい里山が広がる真庭を目指して

里山資本の持続可能な利用と生物多様性



真庭市生物多様性地域連携保全活動計画



平成 26 年 4 月

真庭市

自然と調和した美しい里山が広がる真庭を目指して

Biodiversity of Maniwa

1. 真庭の自然のこと

①自然公園について	2
②自然環境保全地域について	3
③気象・気候について	4
④植生について	5
⑤地形について	6
⑥地質について	7
⑦水系及び水質の状況について	8

2. 生物の多様性を守る

①社会的背景	10
②真庭市における生物多様性とは	11
③真庭市が目指す里山資本の活用と生物多様性	15

3. 地域連携保全活動計画

①目的	17
②位置づけ	17
③方向性	18
④目標	18
⑤区域	18
⑥期間	20

4. 活動を推進する

①推進体制	22
②具体的な活動	22

資料編

1. 真庭市生物多様性地域連携保全専門委員会名簿	34
2. 真庭市の自然環境に関する市民アンケート結果概要版	35

1. 真庭の自然のこと



平成 17 年に 9 ヶ町村が合併してできた真庭市は、
総面積約 828 km²、岡山県下最大の面積を有する自治体です。
東西に約 30 km、南北に約 50 km 程度あり、
真庭市北部と南部では、気候や地形、地質等の自然環境は大きく異なります。

広域だからこそ見ることができる真庭の多様な色彩鮮やかな表情。
古来より真庭の人々は、自然のしくみを上手に活かしながら、
特色ある文化や伝統、産業を育んできました。
そこには、自然とともに暮らすなかで培われてきた知恵や知識が代々受け継がれ、
人々の暮らしと自然は密接な関係を保っていました。

しかし、現在の社会情勢の激変の中で、里山にあるそれら多くのものが失われつつあります。
真庭の自然や生物多様性を守っていくことは、
そこに暮らす人々の「暮らし」を守ることに繋がります。
まず、その基礎となる、真庭の自然のことをまとめました。



図 1 真庭市位置図

①自然公園について

真庭市内には、大山隠岐国立公園と湯原奥津県立自然公園、備作山地県立自然公園が一部区域に指定されています。

【表1 真庭市の自然公園について】

区分	名称
国立公園	<p>大山隠岐国立公園</p> <p>⇒ 蒜山地域の一部は国立公園区域であり、蒜山三座とその山麓の一部、三平山、朝鍋鷲ヶ山、郷原地区一帯が含まれる。</p> <p>⇒ 公園区域のうち、蒜山三座をはじめ、皆ヶ山・鬼女台の山麓部の一部は『第1種特別地域』である。</p>
国定公園	該当なし
県立自然公園	<p>湯原奥津県立自然公園</p> <p>⇒ 旭川及び吉井川の上流部を含む中国山地エリアの自然公園である。</p> <p>⇒ 真庭市内の公園区域は、旧中和村～勝山・神庭の滝周辺にかけて指定されている。</p> <p>⇒ 湯原湖周辺、櫃ヶ山及び星山の一部は『特別地域』である。</p> <p>備作山地県立自然公園</p> <p>⇒ 高梁川最上流域の県境付近に指定されている自然公園であり、飛び地指定として、耳スエ山周辺の山地帯が公園区域となっており、その一部に『特別区域』がある。</p>

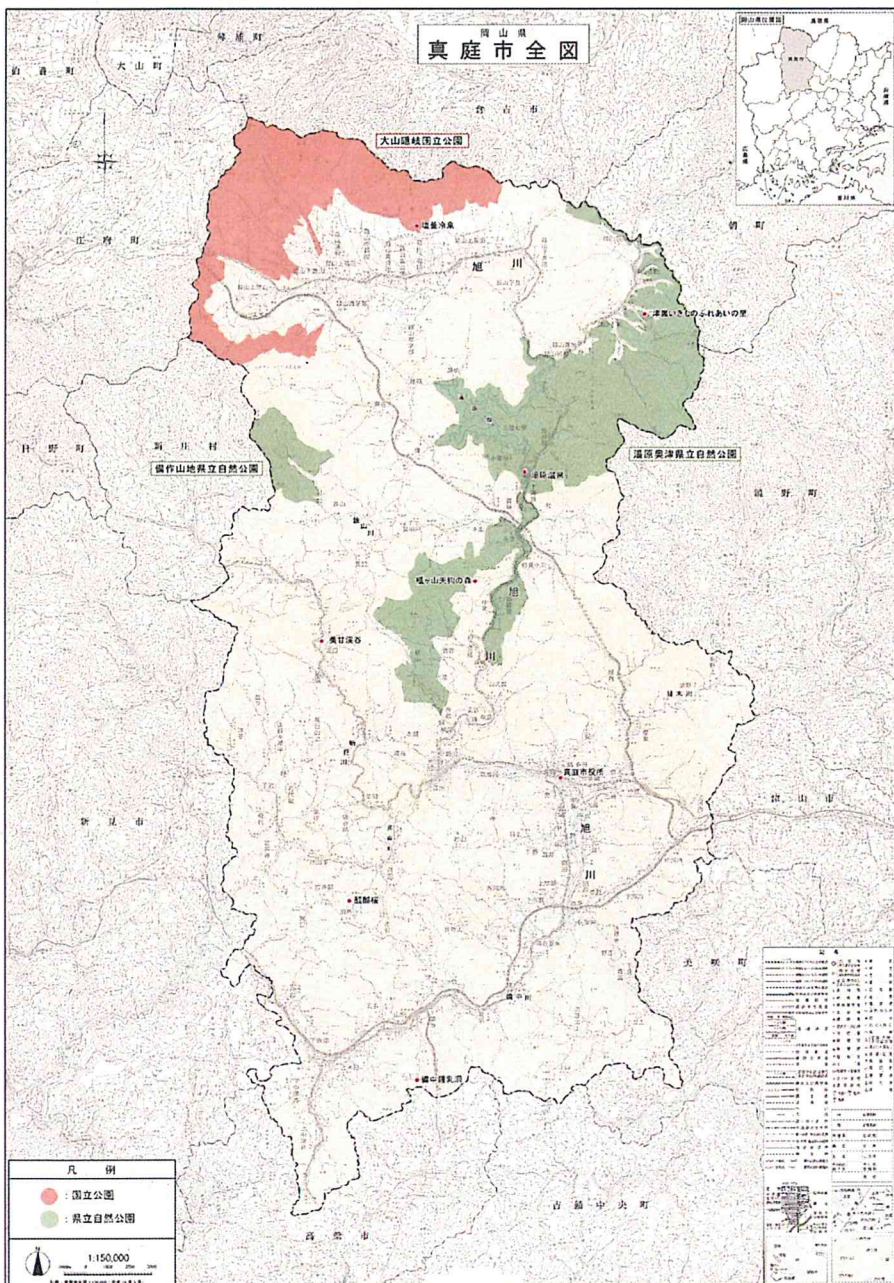


図2 真庭市内の自然公園等区域図

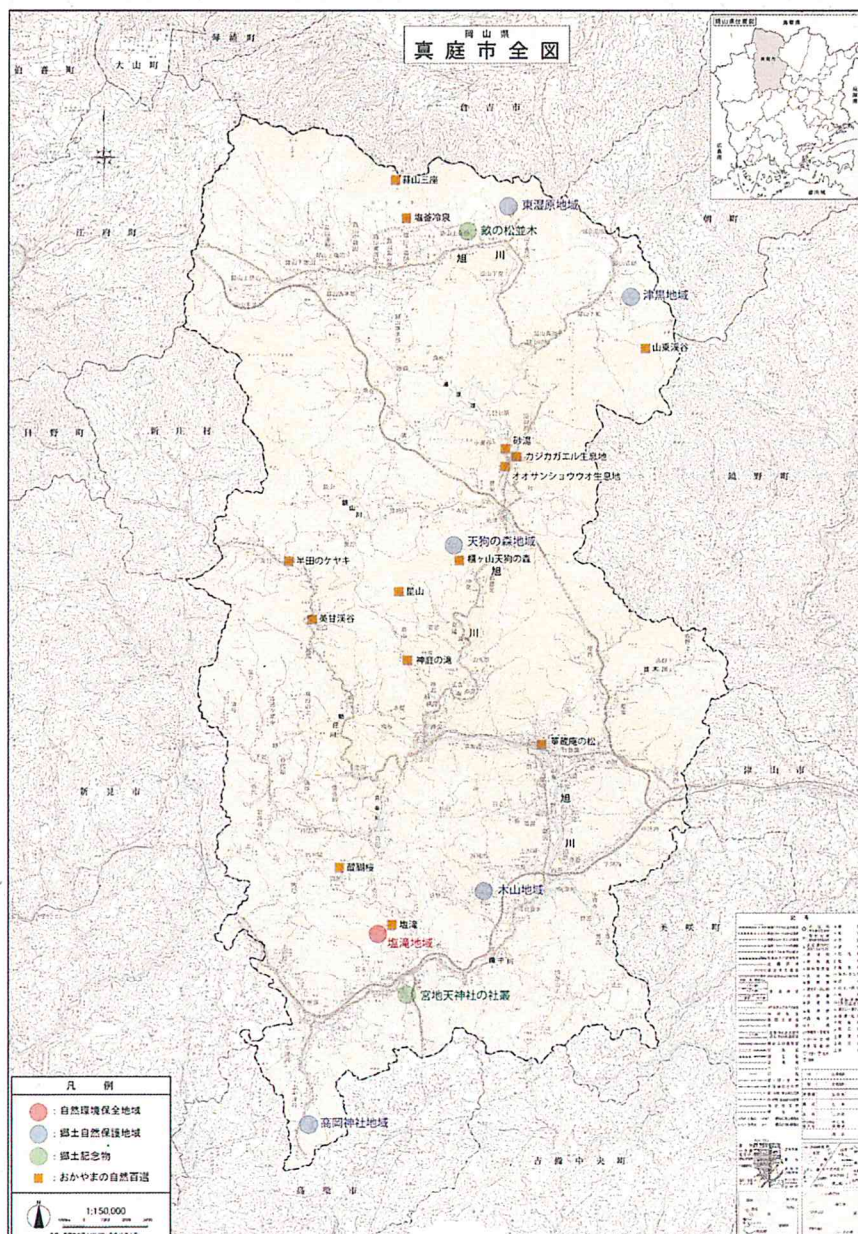
②自然環境保全地域について

自然環境保全地域とは、岡山県条例により指定され、建築物や工作物の新・改・増築や木竹の伐採などが規制されています。種類は5種類に分けられています。

- 1 自然環境保全地域：天然林や野生動物の生息地、湖沼、湿原など優れた自然の地域
- 2 環境緑地保護地域：都市周辺の良い生活環境を形成する緑地の地域
- 3 郷土自然保護地域：自然と一体となって郷土色豊かな風土を形成し、県民に親しまれている地域
- 4 郷土記念物：樹木及び地質鉱物で、県民に親しまれているもの又は由緒あるもの
- 5 特別地区

【表2 真庭市の自然保全地域等について】

区分	名称
自然環境保全地域	塩滝地域 ⇒県内に3地域指定地があり、そのうちの1ヶ所が本市に存在する。
郷土自然保護地域	東湿原地域、津黒地域、天狗の森地域、木山地域、高岡神社地域
郷土自然物	畝の松地域、宮地天神社の社叢
おかやまの自然百選	蒜山三座、塩釜冷泉、山乗溪谷、砂湯、カジカガエル生息地、オオサンショウウオ生息地、櫃ヶ山天狗の森、星山、半田のケヤキ、美甘溪谷、神庭の滝、華蔵庵の松、醍醐桜、塩滝
岡山県希少野生動植物保護条例	フサヒゲルリカミキリ、サクラソウ（真庭市内に生息・生育） ⇒特に保護を図る必要のある動物3種、植物5種は指定希少野生動植物に指定され、捕獲等を規制されている



岡山県希少野生動植物 指定種



自生するサクラソウ



フサヒゲルリカミキリ

図3 真庭市内の自然環境保全地域等分布図

③気象・気候について

市内には、気象観測所が3ヶ所あります。気温及び降水量について、平成16年から平成25年までの10年間の平均値を示すと下表のとおりとなります。

一般に瀬戸内沿岸地域の年間降水量は1,000mm前後、中国山地では2,000mm以上と言われ、真庭市北部の蒜山地域にある上長田観測所の10年間の平均降水量は約2,000mmで市内でも最も多く、中国山地の気候の特徴を示しています。また、平均気温でも上長田観測所は、11.6℃と最も低く、久世と約2℃、岡山市とは5℃程度低い観測結果となり、県内でも冷涼な地域と言えます。

【表3 真庭市の気象について】

	真庭市上長田	真庭市久世	真庭市下告部	岡山市
平均気温(℃)	11.6	13.9	-	16.6
平均降水量(mm)	2,064.4	1,427.0	1,366.8	1,134.5

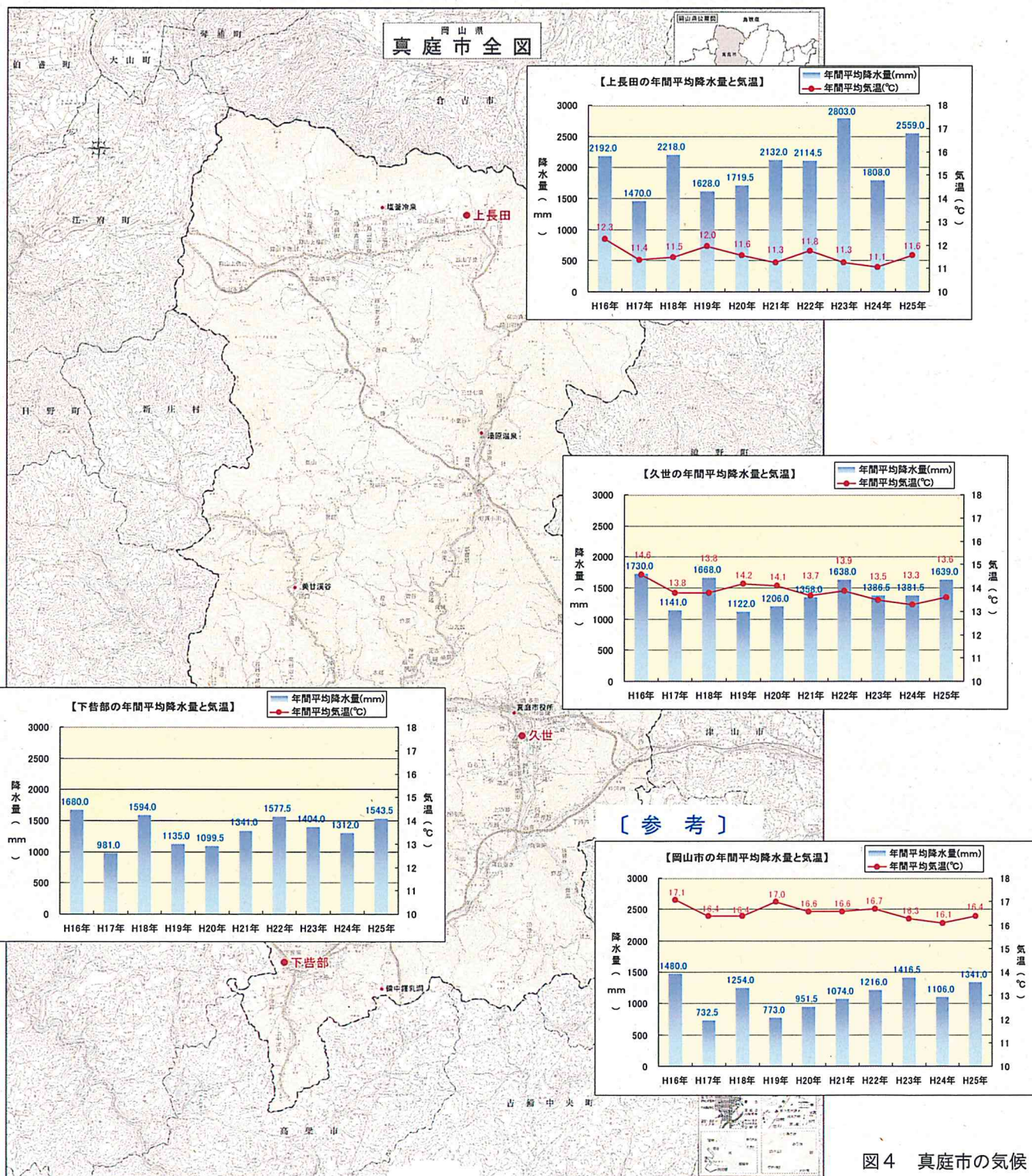


図4 真庭市の気候

④植生について

真庭市北部の海拔約 800m 以上の中国山地は、温帯のブナ帯に属する。ブナやミズナラを優占種とする夏緑広葉樹林が分布し、蒜山三座、朝鍋鷲ヶ山、山乗山、播鉢山、櫃ヶ山周辺には天然林が広がっています。その他市内の山林地はほとんどが代償植生であり、アカマツやコナラの混交林やスギ・ヒノキ植林が広範囲に分布します。

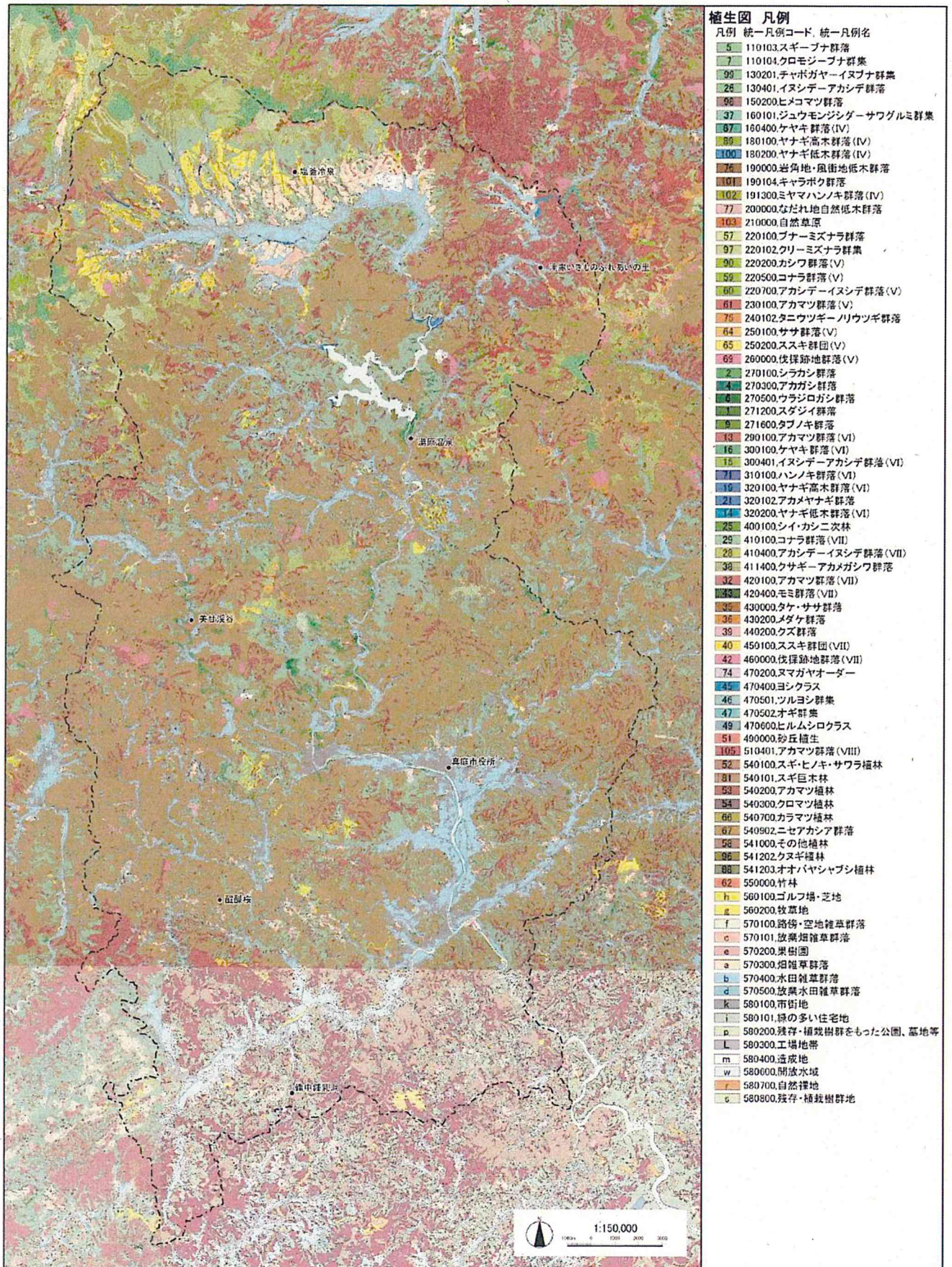


図5 真庭市の現存植生図

⑤地形について

岡山県の地形を大別すると、北から①中国脊梁山地②吉備高原山地③瀬戸内沿岸平野④瀬戸内海島嶼部に分けられます。

真庭市は、国道 181 号線以北は、海拔 650~1,200m に達する中国山地の一部（中国脊梁山地）をなしており、国道 181 号線以南は、吉備高原山地に属しています。勝山から落合にかけて旭川沿いは、谷底平野が形成され、集落や市街地、農耕地等の土地利用が見られます。勝山から上流の旭川は、V 字谷を形成し、蛇行しながら流下し、湯原温泉周辺には狭小な谷底平野が点在しており、その上流部にダム湖が存在します。蒜山地域は、緩やかな起伏の複合扇状地形を呈する山間盆地となる一方、真庭市南部の田原上山地区周辺は、丘陵上に集落が分布する吉備高原山地特有の土地利用が見られます。

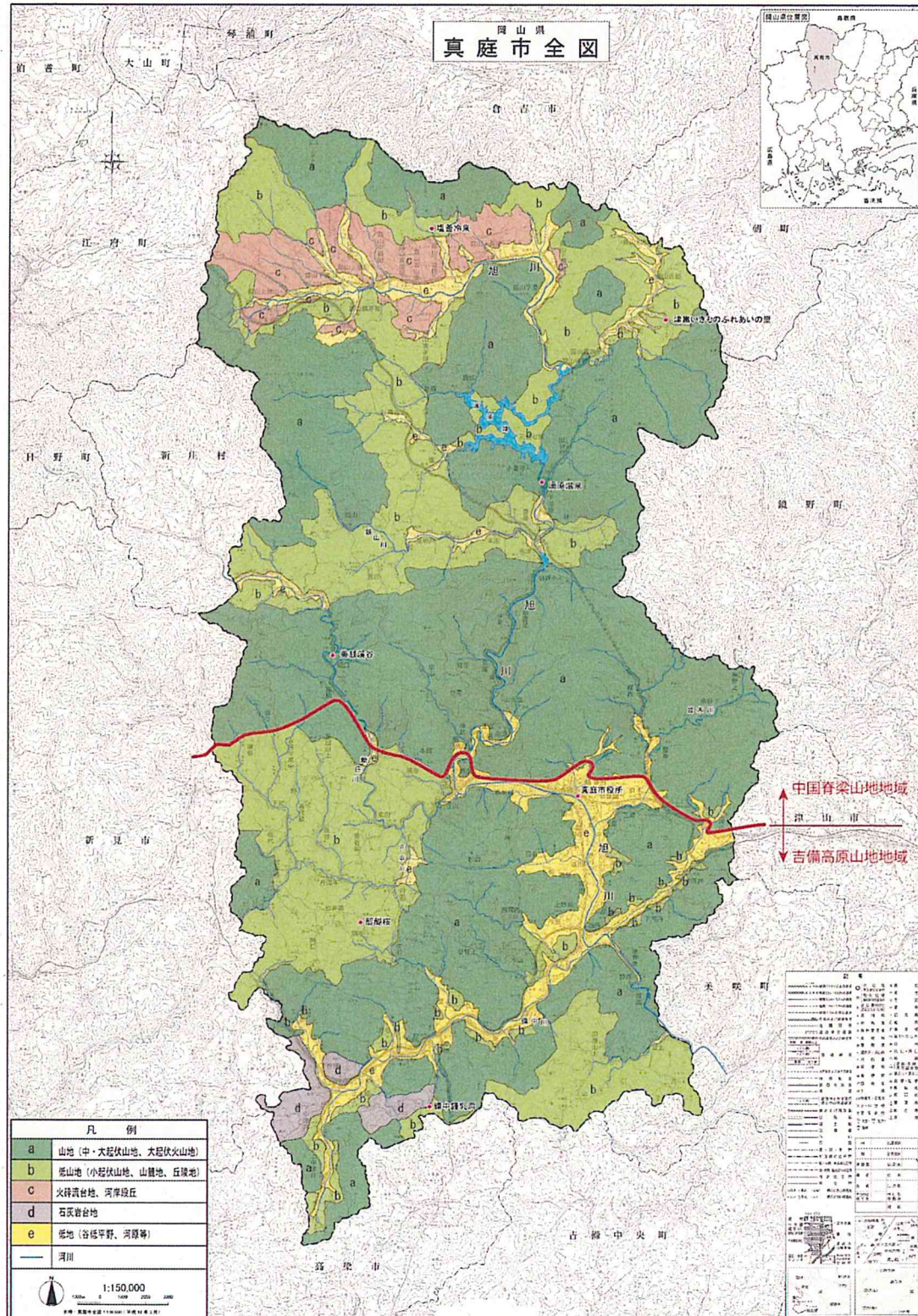
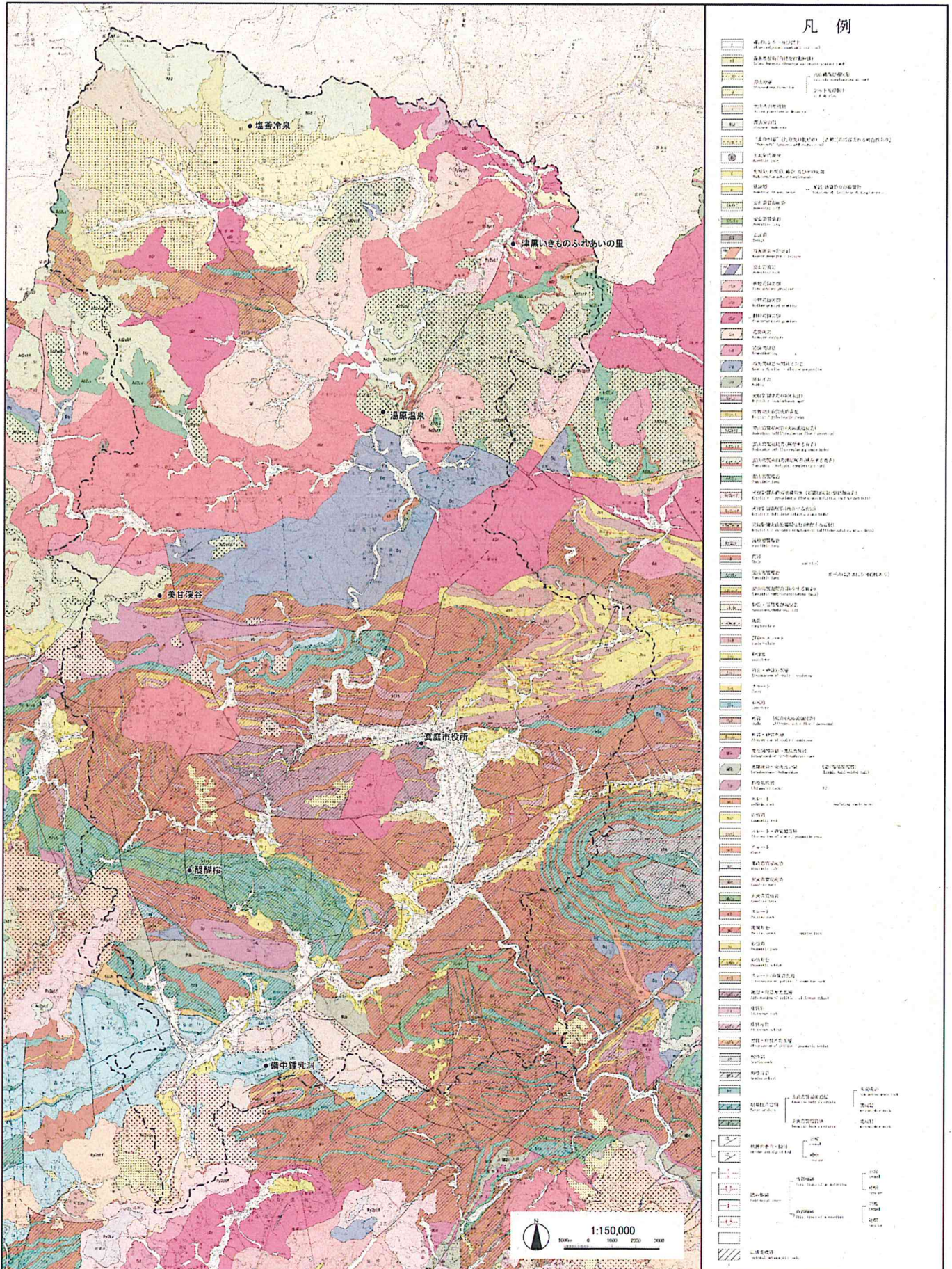


図6 真庭市の地形分類図

⑥地質について

国道 181 号線以北の中国山地地域は、蒜山高原周辺を除き、花崗岩類が広く分布します。湯原温泉以南から星山・美甘溪谷周辺にかけての山地帯は石英閃緑岩、蒜山三座及び湯原温泉周辺の山地帯は、安山岩が分布します。国道 181 号線以南の丘陵地は、主に泥質片岩、泥質岩が広く分布し、場所によっては砂質岩が混入しています。備中鍾乳洞がある真庭市南部の北房地域では、石灰岩帯の北端に含まれます。



⑦水系及び水質の状況について

真庭市のほぼ中央部を旭川が流れ、これに新庄川・備中川・目木川・月田川・鉄山川等の主要な支川が合流しています。河川の状況としては、全体的に河川改修がなされ、各河川には灌漑用の取水施設や砂防堤防等が設置されています。自然性の高い河川（渓谷）としては、美甘渓谷・山乗渓谷・植杉川・明連川等があげられます。水質（BOD：生物化学的酸素要求量）について

真庭市内の公共用水域のうち、環境基準が設定されているのは、湯原ダム・大久奈橋・落合橋・間瀬橋の4ヶ所です。このうち、湯原ダム直下の測定地点では、経年的に環境基準を超過しています。

